内幕の見え透いた
女給聯盟事件
女給復職など眞個くの嘘
逃走して今に行方知れず

近頃勞働總同盟とかの後立で西區大阪女給聯盟とやらが西九條の明日食堂から生れてヤレ女給が自覺したの、新時代に目覺めたのと云つて隨分騒がれてゐるが所謂「女給聯盟事件」なるもの、正體を糺して見ると果して泥棒根性まる出しの内幕は見え透いてゐるのに口あんぐりとならざるを得ない。始め明日食堂内の

女給聯盟 の組織が進捗するに連れ注目を集めされる倉本愛子外二名が雇主から諭旨解雇されたのに憤然と蹶起し[illegible]期した雇主に對しての手當を請求したの、[illegible]遂に[illegible]したの、と云ふことはスッカリ大嘘で事實は同食堂の月給制度や八時間制度が反對で嫌で嫌でたまらず何れも逃走したのであつて彼等が月給、時間制を請求したことがないことか[illegible]傳へられてゐる

のは確といろ／＼ない

全然反對 なのである。當の問題の女給連は何にも知らない前記の[illegible]か諭旨退職されたとか云ふ女給三名も諭旨されたのではなく彼等へ歸つたかで行方が不明である。彼等の[illegible]が傳へられたのは明日食堂の[illegible]の一手段で巧みに[illegible]を利用したに過ぎない。後から何とか總勞働組合一派の働きが巧妙に糸を操つて何も知らない女給が渋々に一仕事せんと企圖んで居ることが悪くない。記者が明日食堂主人を訪へば「勝手に止めた

女給三名 の行方は未だに判りません、又其の居所を知る必要もありません。二月一日から紳士級の人の食堂を實現するため八時間制と月給(八十圓)を實施しました」と[illegible]

若の調査した事實と同じやうな一隅でこのことを話つたが其の食堂の一隅で何人かの人に勧誘したことが[illegible]、他は今日何處か新聞に[illegible]

賀川氏を組合長に
女給さんの旗擧げ
四月五日は赤襷掛で
市内カフエーに大宣傳

勞働總同盟の有志が後押で組合加入宣傳中の女給同盟も全市各方面から申込みが多く四月十一日四ツ橋の[illegible]に發會式をあげることになつた。當時は賀川豐彦氏、同菊子女史、小見山富恵女史、西尾末廣、東忠續、山名義鶴の諸氏も出席して講演し組合長には賀川氏を推すと云ふ向組合幹部となる四五人の女給は組合の月から女學校に通はせ、せる話で[illegible]ある四月五日は自動車で宣傳すると云ふ赤襷をかけた女給同盟の十數名の女給が

分乘 して「全市の女給團結せよ」と書いた五旗の旗を立て市内に一萬枚の「女給同盟にお入りなさい」と題したビラを撒き各カフエーに演説宣傳をすると

宮内省の
判任整理
各員を減少

今一日附宮内省令を以て判任官待遇官内職員等を改め職制の配置を左記の如く[illegible]判任四十三人を二百二十七人に、雇員を千九人に、守衛を四百三十七人に減少し[illegible]十七人を十六人に、更に判任待遇の[illegible]宮内部五十人に、能樂師二十人に以下の如く判任官待遇に改め能樂手は[illegible]八十圓以下とし四月一日より施行すると

職工の歎願
容れらる
横川橋梁會社

大阪市西區横川橋梁會社三百名の職工は(一)賃銀を現在より[illegible]一割[illegible]五分[illegible]一割の値上げをすること(二)解雇手當を制定すること(三)[illegible]の二箇條を要求し[illegible]十九日は怠業に及んだが結果各方面の斡旋[illegible]

勞働者對會社の
興味ある係爭事件
怠業職工に對する賃金問題
一審では勞働者が勝訴
二審では會社側が勝つ

[illegible]

職工の 勝訴

[illegible]

判決を 下した

リバーブラザース
折り合はん
月給一圓八十錢値上げか

職工の怠業に對して工場閉鎖をせるリバーブラザース會社職工は三十日も朝より工場附近に集合して協議中であるが日本勞働總同盟だけ崎藤合會で東長が應援に赴き六名の實行委員と共に會社に交渉中である。會社側では定期の昇給は財界不況の影響で困難であるが月給一圓八十錢の職工に對しては相當の値上げをするにしても疾病負傷に對する手當は新規定を制定する必要があるから相當考慮して置くと謂つてゐるが或程度で折合ふかも知れない

工場閉鎖
リバーブラザース職工の怠業で

阪神沿線武庫川[illegible]リバーブラザース會社職工[illegible]百名は疾病負傷手當及賃銀値上の要求を提出し[illegible]八日正午を回答期として會社へ申込んだが之に對し當日會社は疾病負傷に對する手當は工場法規定より[illegible]會社があまり利益を配當してゐないので定期の昇給も出來ないと拒絕したので職工側は二十八日全部怠業を遂げ女工四十名は男工と共に二十九日は休業して工場内を示威した。會社は三時四十分頃使用人の許可なく無斷に休業したから直ちに工場を閉鎖すると掲示し職工側は合工場内の總同盟代表者協議を重ねてゐる。[illegible]全部職工が會員であるから應援するに至るであらう